

内閣支持率3割切る

政治 考

時事通信の世論調査で岸田内閣の支持率が27・4%まで落ち込みました。「危険水域」といわれる3割を割り込み永田町には衝撃が生じています。

上がる要素なし

自民党議員の一人は、「内閣支持率だけでなく自派支持率も下がっている(23%)。安倍、菅内閣ではなかったのだ。統一協会との関係は、自民党全体への不信となっている」と指摘。『内閣支持率と自民党支持率を合わせて50%を切ると危険』と言われるが、まさにその状況になりつつあり、上がる要素がない「不信感を醸し出しています」。

「内閣支持率と自民党支持率を合わせて50%を切ると危険」と言われるが、まさにその状況になりつつあり、上がる要素がない「不信感を醸し出しています」。

「山際大臣も細田議長も早く辞めさせなければ、国会は永遠に空転してしまふ(関係者)など、自民党内からは岸田文雄首相の無策に危機感が相次ぎます」。

一方で、安倍晋三元首相の「國釋」強行や統一協会問題だけでなく、国民生活の厳しさが事態の根底にあるとの見方も出ています。

別の議員は「国民生活はものすごく苦しくなっている。原油をはじめ物価が何もかも上がっている。そのもとで年金は下がり医療費

相(細田博之(衆院)議長など)ボロボロだ。その中で岸田首相は何もしない。政権は完全に行き詰まりだ」

メーランの自民党関係者も政権の機能不全を認めつつ、「統一協会が無感商法などで集めた金が韓国に流出している」ことへの懸念も示します。それが右派支持層からも批判を受け、支持率の大きな下落につながっているのではと考えるかろいです。



細田博之議員



山際大臣担当相



岸田文雄首相

10/16 5:30 PM

走る衝撃 たたかい今こそ



岸田内閣の悪政に反対し、国会にむけて抗議する人たち＝3日、衆院第2議国会館前

は上がる。こんな苦しいとき、物価高や田安の問題にも取り組まず、統一協会問題にも明確な対応ができず『何をやっているのか』という不信がある」と述べます。物価高の要因となっている田安が連日のように更新される中、『菅(義偉)前首相も岸田首相も『安倍政治継承』でやってきたが、アベノミクス・異次元の金融緩和は限界だ。どこかで転換しなければ』と。しかし、買上げも含め、転換の具体策は示せていないと語ります。

強権姿勢強める
他方、行き詰まりを深めつつも岸田政権は「國釋」を強行し、進級の「敵艦題

総がかり行動実行委員会の小田川義和氏は「統一協会や『國釋』の問題は岸田政権を追い詰めてきた。しかし岸田政権は追い詰められればられるほど、アメリカや財界、従来の右派の支持を取り付けるべく強権主義を強めている。全く『聞く耳』を持たず、閣議決定でなんでもできるという姿勢だ。政治を変える国民のたたかいを大きく発展させる局面に入っている」と語ります。

(2面177頁)